



## この号の内容

1. クラウドファンディングへのご支援をありがとうございました
2. 2022年度生の選抜審査を終了しました
3. 2021年度生が京都大学入学式に参加しました
4. 2021年度生の予備教育課程修了式を開催しました
5. 桂キャンパスの研究室を訪問しました
6. キャリアサポートルームを訪問しました

Kyoto iUP 留学生の声  
Vol.5

## 1. クラウドファンディングへのご支援をありがとうございました

2022年3月31日に、クラウドファンディングプロジェクト「日本の心と国際的な感性。日本で学び、羽ばたく留学生の後押しを」の寄附募集を終了しました。ご支援いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。最終目標金額である727万円には至りませんでしたが、第一目標金額の200万円を超える、**260万2千円**を集めることができました。この資金はKyoto iUP生1名へ支給する学部課程1年間分の奨学金に充当します。

Kyoto iUPの取組をより多くの方々に知っていただき、日本の将来に貢献する人材を社会全体で育成する気運の醸成に繋がればという思いから、今回クラウドファンディングに挑戦しました。同じ思いを持って留学生支援事業に取り組まれている方、留学先で大きな学びを得た経験をお持ちの方、日本社会の発展と国際化を願い応援して下さる方など、幅広い層の皆さまから寄せられた温かいコメントを読むたびに、胸が熱くなりました。この期待に応えるべく、新たにできた繋がりも活かしながら、留学生が学業に専念し伸び伸びと成長できるような環境作りに努めて参ります。

支援者の皆さまには、順次リターンを送付していきます。また「Kyoto iUP 留学生支援基金」では引き続きご支援をお願いしておりますので、これからもKyoto iUPの取組を応援いただけましたら幸いです。



## 2. 2022年度生の選抜審査を終了しました

2022年10月に予備教育履修生として受け入れるKyoto iUP生の選抜審査を終了しました。出願者520名のうち書面審査を通過した者に対し、2月28日～3月11日の2週間にわたって面接審査を実施しました。厳正なる選考の結果、今年は30名に合格をオファーし、入学意思確認を行っているところです。

### 2022年度生選抜実績

出願者数：520名 (49の国地域) ← 482名 (45の国地域)  
 面接者数：68名 (18の国地域) ← 62名 (18の国地域)  
 合格者数：30名 (14の国地域) ← 27名 (14の国地域)

### 2021年度生選抜実績

(アメリカ、イギリス、インドネシア、カナダ、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、台湾、韓国、中国)

おかげさまで、クラウドファンディングプロジェクトが成立しました



オンライン面接審査の様子

### 3. 2021 年度生が京都大学入学式に参加しました



15名のKyoto iUP生（2名は未渡日）

2022年4月7日に、京都大学入学式が行われました。2021年10月に予備教育履修生として受け入れた17名は、全員が学部入学のための試験に合格し、希望の学部学科に入学することができました。式当日、残念ながら2名は未渡日のため会場に来られませんでした。参加したKyoto iUP生は総長式辞に耳を傾け、これから始まる学部生活に向け決意を新たにしているようでした。授業や課外活動で日本人学生と共に学ぶ機会がぐっと増える中、更に視野を広げて成長してくれることを期待しています。

### 4. 2021 年度生の予備教育課程修了式を開催しました



修了証授与

2022年3月30日に予備教育課程修了式を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、会場参加者とオンライン参加者とを分けるハイブリッドスタイルで実施しました。

平島 教育担当理事の祝辞、宮川 国際高等教育院長の挨拶と修了証授与後、予備教育履修生を代表して4名が日本語レベル別にスピーチを行いました。初級レベルの学生でも、スピーチで披露した語彙力、淀みなく話す様には目を見張るものがあり、日本語を全く知らない状態

から短期間の学習でここまで上達したことに驚かされました。その後、既に学部課程に進学している先輩Kyoto iUP生たちが自作の温かいビデオメッセージで祝福し、長谷部プログラムマネージャーからは激励の言葉がありました。予備教育で日本語授業を担当した教員や、学生をサポートしたチューターもオンラインで参加し、予備教育履修生の晴れ舞台を祝いました。



オンライン参加者も一緒に記念撮影

## 5. 桂キャンパスの研究室を訪問しました

2022年2月24日に、理学部・工学部所属のKyoto iUP生6名が桂キャンパスの研究室を訪問しました。研究室の雰囲気を感じ、近い将来の研究活動や大学院進学に向けて具体的なイメージを持つことを目的とし、2021年8月に行った農学研究科研究室訪問に次いで2回目の企画です。

今回訪問したのは工学研究科にある2つの研究室で、分析に用いられているスーパーコンピュータやX線回折装置、様々な実験機器を目の前に、研究の最前線にいる教員からレクチャーを受けました。Kyoto iUP生は積極的に質問をし、先輩学生が研究に取り組んでいる様子を目の当たりにしたことも、大いに刺激になったようです。

研究室に加えて、実験装置の設計、製作、相談を行い実習の場としても利用される「機械工作室」、教育・研究に関わる機械加工やデジタル加工全般を行える「桂ものづくり工房」も見学しました。旋盤、フライス盤などの工作機械や3Dプリンターといった、ものづくりに欠かせない充実した設備と装置の数々に、Kyoto iUP生は心躍らせているようでした。

キャンパス内の附属施設も訪れました。桂図書館では、ガラス張りの開放感溢れる閲覧室から京都市内が一望でき、感嘆の声があがっていました。歴代ノーベル賞受賞者の展示コーナーがある船井哲良記念講堂では、受賞の契機となった当時の論文や実験ノートを手に取り、みな興味深く読み耽っていました。これまで学んできたキャンパスを離れ、いよいよ本格的に研究活動を始める学生にとって、この研究室訪問がモチベーションを高める機会になったことを願います。また入学後間もない学生にとっても、大学院進学の魅力を感じ、キャリアパス検討の良い機会になったと思います。今後も定期的に、このような研究室訪問を企画していく予定です。



装置を目の前に熱心に説明を聞く Kyoto iUP 生



研究室には先輩学生の姿も



2020年4月開館の桂図書館



船井哲良記念講堂で

## 6. キャリアサポートルームを訪問しました



キャリアコンサルタントから利用方法を説明

日本での就職を考えている Kyoto iUP 生が、本学のキャリアサポートルームを訪問しました。ここでは求人票や企業パンフレット等の各種情報・資料の提供、セミナー・企業説明会の開催、キャリアコンサルタントによる就職相談など、全学生を対象としたキャリア形成や就職活動に役立つ支援を行っています。利用説明を一通り聞いた後、インターンシップへの参加、日本ではインターンシップと就職活動がどのように関連するのか、日本企業と外資系企業の主な違いなど、Kyoto iUP 生から様々な質問が飛び交いました。ルームで閲覧・貸出可能な資料や書籍に早速手を伸ばし、真剣に眺めている様子からも、日本での就職に対する意欲・関心の高さが伺えました。

Kyoto iUP 生が日本社会をより深く理解し、個々の資質に合った進路選択ができるよう、就職支援についても注力してまいります。

## Kyoto iUP 留学生の声 Vol.5

**MAULAD, Irhasy Muhamad** 工学部工業化学科 2 回生 (インドネシア)



日本語を一から学ぶことは簡単なことではありませんでした。しかし、来日前のプレ日本語予備教育や予備教育課程の授業で基本的な日本語のスキルを身につけることができました。また授業だけでなく、文化活動や Kyoto iUP で提供される様々な活動を通して、日々日本語能力が上達していくのを感じました。今では大学のクラブにも所属し、日本人の学生とも日本語で会話を楽しんでいます！

### Kyoto iUP Newsletter

発行 京都大学国際高等教育院吉田カレッジオフィス

連絡先 吉田カレッジオフィス事務室

E-mail : [yc-sokatsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:yc-sokatsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)



[Kyoto iUP\\_Kyoto University](https://www.youtube.com/Kyoto_iUP_Kyoto_University)



[Kyoto iUP](https://www.instagram.com/Kyoto_iUP)



<http://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>